

2021年 11月例会 野鳥の森&幸福の路ウオーク 報告

開催日： 2021年11月3日(水、祝日)  
集合場所： 常総線・つくばエクスプレス守谷駅改札出口  
集合時間： 9時00分～9時15分  
開会式： 9時15分～9時30分 終了後スタート  
コース： 守谷駅→北園森林公園 →守谷城址公園 →野鳥の森散策路 →南守谷駅  
→幸福の路→守谷駅  
ゴール時間： 12時40分  
距離： 10km 団体歩行  
参加者： 28名(会員21名、非会員7名、内県外12名)  
天候： 晴れ

〈ウオーキング状況〉

守谷城の跡地の城址公園の森と、開放的な湿地草原の「木の道」、静かな林間の「土の道」からなる野鳥のみちが今回の見所だ。天候に恵まれ初秋の気配が漂うウオーキング日和が足取りを軽くする。

守谷駅からプロムナード水路を経て北園森林公園に入るとそこは市民の憩いの場。楽しそうな子供達の声を聞きながら森林を抜けると守谷城址公園の入り口が目の前に。小休止後、その散歩道へ。守谷城は低湿地に囲まれた台地に築かれた天然の要塞、下総相馬氏の拠点で戦国時代から江戸時代までの歴史があり、相馬氏の先祖に当たる平将門が築いたとされている。落ち葉で覆われた二の丸跡を散策し、当時の栄華に思いを馳せて城跡を去り、野鳥のみち散策路に向かう。

市街地のそばに自然豊かな森が広がり、その中を貫く形で市民らが手作りで仕上げた散策路が「守谷野鳥のみち」。案内板によると、季節によりカワセミ、ウグイス、サシバ等の野鳥の鳴き声が聞こえるそうだ。県北産のヒノキを使った幅1.5m、長さ730mの木道が湿地の中を堂々と延びている。すれ違いも容易で誰もが自然と笑顔の挨拶になるのが印象的。そこから木漏れ日の差す「土の道」に移り、起伏のある林道を辿ると水辺の広場に着いた。訪れた人の良い感想に満ちた掲示板に目をやると、「水面の油膜のようなものは鉄バクテリアによる酸化皮膜です。自然現象なので安心して下さい」との解説もあり、安堵した。10分程度歩くと出口へ。全長4kmのコースのうち、およそ2kmのコースを歩いたことになる。その後南守谷駅へ向かい、ヘルスロードの「幸福の路」を歩いて守谷駅に戻った。

東京への茨城の新たな玄関口、新興都市化が進む守谷市で、こんな自然豊かな楽園を気楽にウオーキングできるのは驚きの一言に尽きる。中学生も含むボランティア活動で整備に携わった地元の皆様に感謝したい。

(戸田記)